

おおふなと 社協だより

2021年2月号



今月の表紙

しま	こし	よう	へい
島	越	洋	平さん
		るり	こ
		るり	子さん
		な	な
		菜	那ちゃん
			(2歳)

【特集】新たな地域づくりのかたちとその実現のために
～地域助け合い協議会の今～……2～3

のびのび子育てサポーター「スマイル」……4

大船渡市声の福祉図書館研修会……4

ふくし塾 vol.1～視覚障がい者理解促進教室～…5

ハウスクリーニング講座……5

お知らせ……6～7

輝き人……8



新たな地域づくりの かたちと その実現のために

～地域助け合い協議会の今～

○地域の未来を見据えて

日本は、世界一の長寿高齢国であると言われていました。2025年には3人に1人が高齢者となる見込みで、現在の合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産む子供の数の平均）では人口を維持できないと見込まれています。

少子高齢化、人口減少も今後加速していくことを見据え、2025年に向けて、『住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる』ための新たな地域づくりをしていくことを基本理念とし、地域、行政、民間団体の垣根を越えて地域課題を解決していく試みが始まっています。

この理念を実現するために、大船渡市では、平成27年4月に地域住民や行政、社会福祉協議会などの公共団体、介護事業者で「地域助け合い協議会」が組織され、さらに「地区版助け合い協議会」が組織されることになりました。

○地区版助け合い協議会とは

「地区版助け合い協議会」は、地域公民館長をはじめ、その地域の住民を構成員として組織され、生活支援コーディネーターを中心にそれぞれの地域の実情に合わせた助け合い活動（下記事例参照）を進めていく主体となっています。

「地区版助け合い協議会」は、平成27年12月の蛸ノ浦地区の発足を皮切りに、28年度には吉浜地区など5地区が、30年度には4地区、そして平成31年4月には11地区すべての地区で組織化が完了しています。

○社会福祉協議会との関わり

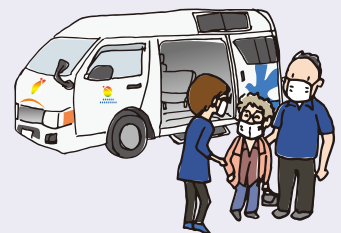
社会福祉協議会では、「地域助け合い協議会」の構成団体として、「地区版助け合い協議会」への活動費の助成（地域助け合い推進事業支援助成金）や、住民支え合いマップ作成を通じて、地域実情の把握や地域課題の掘り起こしなどに取り組み、助け合い協議会の活動を支援してきました。

今年度は、越喜来地区助け合い協議会で住民支え合いマップを作成し、越喜来地区すべてのマップ作成を完了する予定です。



【地域の実情に合わせた各地区の取り組み事例】

- サロン活動や健康体操を中心とした介護予防活動
- 民間企業と協力した電気器具の点検、清掃活動
- 清掃活動やUターン者の仕事と出会いの場支援
- 見守り活動や「相談所」を開設し、必要に応じて関係機関につなぐ活動
- ゴミ出し支援などの直接的な生活支援
- 社会福祉法人と協働した、買い物送迎車運行による買い物支援



次ページでは、今年度、新たな取り組みを開始した猪川地区と立根地区の助け合い協議会から活動開始のきっかけ、今後の活動方針を聞いてみました。

猪川地区



猪川地区助け合い協議会の田村敏夫生活支援コーディネーター

Q1 今年度から新たな取り組みを始めたということですが

A 75歳以上の高齢世帯やゴミ出し困難な人を対象に「お互い様のゴミ出し支援事業」を開始しました。

Q2 なぜこの取り組みを行うことにしたのですか

A 市の補助事業として昨年度、猪川地区内の後期高齢者300人に対しアンケートを行った結果、要望が多かったゴミ出し支援を実施することに決めました。

Q3 現在の利用状況は

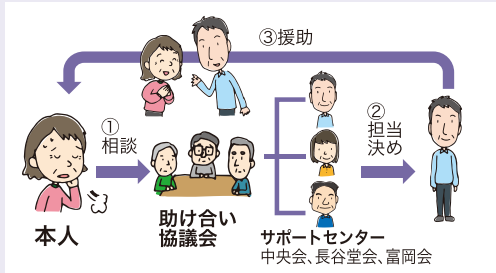
A 現在まで5人の利用者がおり、8人のボランティアで対応しています。

Q4 利用した人の感想は

A 80代で一人暮らしをしている方から、「以前は一輪車にゴミ袋を積んで、途中何度か休憩を取りながらゴミ出しをしてい



ゴミ出し支援のようす



【ここがポイント】

支援者の移動など負担を減らすために

・サポートセンターと称した拠点を3つつくることで地域単位での支援を可能とした

Q5 取り組みを開始しての感想は

A 猪川地区として、できる範囲で高齢者の住みよい地域づくりをしていくため、今後は、家の電球交換や高いところの掃除、家の周りの草刈りなど新たなサービ

スも検討しています。
ました。今はその辛さが無く、本当に助かっています」と話されました。

猪川・立根地区



生活支援コーディネーターにインタビュー!!

立根地区



立根地区助け合い協議会の新沼良治生活支援コーディネーターと今野定志副生活支援コーディネーター

Q1 今年度から新たな取り組みを始めたということですが

A 今年度から「立根町オレンジ隊」を立ち上げ、ゴミ出しや買い物などの生活支援をしています。

Q2 なぜこの取り組みを行うことにしたのですか

A サロンなど居場所づくりも進めています。サロンが根付くには時間がかかること、新型コロナウイルスの影響でサロンの開催が難しいと感じ、違う形で何かできないかと考えた結果、生活支援をすることを運営委員会決めました。

Q3 現在の利用状況は

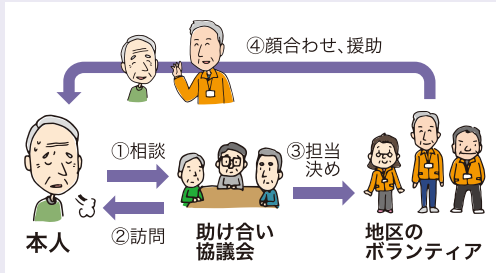
A 現在まで10人の利用者がおり、18人のボランティアで対応しています。訪問しニーズ確認もしています。

Q4 利用をした人の感想は

A ある利用者からは、「身体が弱くなっていくなかで不安なこ



利用前の面談のようす



【ここがポイント】

利用者、住民から見える活動を

・ボランティアは必ずオレンジのジャンパー着用と身分証明書を携行し活動
・担当ボランティアとは事前に顔合わせをする

Q5 取り組みを開始しての感想は

A 様々な人の協力のもと、取り組みを開始して数ヶ月。方向性は間違っていないと感じています。1人でも多く必要の人に支援の輪が広がってこれればと思っています。

とが多かったです。支援するとおっしゃって「こんなに嬉しいことはない」と涙を流して喜ばれました。

季節の行事を大切に のびのび子育てサポーター「スマイル」

1月18日(月)、のびのび子育てサポーター「スマイル」(蒲生孝子代表)では、季節イベント「鬼は外 福は内!豆まき」を開催。11組26人の親子が参加しました。

最初に、参加者全員で会場のカメリアホール内を行進した後、アンパンマン体操を元気良く踊りました。次に蒲生代表が紙芝居「まめつこぼりぼり鬼は外!」を読み聞かせ。節分という行事の意味が分かりやすく紹介され、子どもたちは真剣に聞き入っていました。



みんなが健康で幸せに暮らせるようにと
願いを込めて豆まきをしました

いました。

紙芝居が終わると太鼓の音に合わせて鬼が登場。果敢に鬼に立ち向かい、豆をまく子、泣き叫びながらお母さんの後ろに隠れてしまう子など、一人ひとり違った表情が見られました。

遠藤裕人くん、煌大くんのおばあちゃん「子育て支援情報を見て参加した。季節を感じられて良い企画だと思う。市内に子育て支援団体や、子育て支援センターがいくつかあるので、孫を連れて外出する機会になりとても助かっている」と話してくれました。

蒲生代表は「コロナウイルスの影響が心配されたが、たくさん鬼の姿に泣いてしまう子もいたが、『怖い』という感情を体感することも成長の過程で大事なことだと思う。今後も季節を感じられるイベントを大切にしながら、お母さんたちの要望を取り入れた企画も考えていきたい」と話してくれました。

利用者の声を反映し、より良い活動にする 大船渡市声の福祉図書館研修会

大船渡市声の福祉図書館は、一般的な図書を読むことが困難な視覚障がいを持つ人へ録音図書の貸出を行うことで情報入手、日常生活の便宜を図ることを目的として設置されています。

この声の福祉図書館を運営しているのは、大船渡ボランティアグループ「せきれい」(金野聰子会長)。録音図書の管理貸出のほか、会員が選んだ時事ニュースやコラム、気仙地区の話題などを録音したオリジナルの音声雑誌、声の



たくさんの意見が出され、時間いっぱい
意見交換をすることができました

雑誌「せきれい」を月1回発行する活動をしています。また、その他に、会員の技術向上のための研修会も開催しています。

今年度の研修会は、声の福祉図書館の利用者や視覚障がい者5人の協力のもと、今後の活動をより良いものにするため、録音図書や運営に関する意見交換を行いました。

「カセットテープからCDになり声も明瞭になり聞きやすくなった」、「声の雑誌『せきれい』の『時の話題』をいつも楽しみにしている」、「設立当初から利用しているが大満足」といった活動に関する評価をいただきました。

その一方、「ラジオなどで全国の話題を聞く機会は多く重複するので、もっと県内や気仙地区の話題を取り上げてほしい」、「気仙弁を使ってみるなど気仙地区ならではの特色を出してほしい」などの意見が出され、今後の活動指針になるような多くの気づきを得ることができました。

障がいを持つ人の心を理解する 「ふくし塾VOICER」 「視覚障がい者理解促進教室」

社会福祉協議会ボランティア活動センターでは、例年障がい者に対する地域住民の理解を深めるため、「心のバリアフリー」の推進を図るため、手話・点字教室を開催しています。

今年度は、視覚障がい者理解促進教室と題し、大船渡市内でボランティア活動をしている、点字サークルつばさ、美杉会大船渡、音声訳オープンハートの協力を得て5回コースで開催しました。



体験を通して視覚障がいを持つ人の理解を深めました

今回の教室には、高校生を中心に18人が参加。

視覚障がいを持つ人のコミュニケーション手段である点字の打ち方をはじめ、パソコン点訳や音声訳、移動支援の方法などについて、実際に視覚障がいを持つ人の生の声も交えながら体験を中心に学びました。

参加した山崎結子さん（大船渡高校1年）は、「障がいを持つ人への接し方、点字を打つことの大変さを知り、自ら学んでいくことの大切さを知ることができました。また、相手を理解し、伝えるという気持ちを大切にすることを持たせてくれました」と感想を述べてくれました。

また、森洋子さんは、「数年前、困っている視覚障がい者が目の前にいたのに何もできなかったことを後悔していたので、この教室を受講しようと思いました。難しかった部分もありましたが、心を寄せる気持ちを忘れずに手を差し伸べられたらと思います」と話してくれました。

清掃技術の習得を目指して ハウスクリーニング講座

大船渡市社会福祉協議会では、1月20日（水）に就労準備支援事業利用者を対象としたハウスクリーニング講座を開催しました。株式会社リンピア代表の村上富夫氏を講師に迎え、清掃の基本と、窓・床の清掃・ワックスがけの実技指導を受けました。

講義では、「どんな作業も事前準備として手順や作業内容の確認をしっかり行うことが大切であり、なにより安全に作業を行うことが重要」「無事に家に帰るま



積極的に練習を繰り返し、取り組みました。

でが仕事である」など、講師の言葉に真剣に耳を傾け、様々な仕事に通ずる基本について学びました。

講義の後は、実際にプロが使用している道具を使って清掃・ワックスがけに挑戦。ボランティアで行っている高齢者宅の清掃では、納得できる仕上がりにならず、何度も拭き直すことになりましたが、専門的な指導による仕上がりの違いを実感し、同時に「練習すれば自分たちにもできる」という自信も得られたようでした。

床清掃とワックスがけでは、初めて操作する清掃機械に戸惑いながらも、仕上がった光沢のある床を見て達成感と充実感に浸っていました。

講座を終えた受講生は「専門的な清掃技術を教えていただき、とても勉強になりました。今後は学んだことを実践に活かしていきたいです」と話し、職業を選択していく上で清掃業務を仕事にするイメージが持てたようです。

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日 時 毎週火曜日

【午前の部】午前10時～午前11時50分

【午後の部】午後1時～午後2時50分

※消毒作業のため正午から午後1時は利用できません。

場 所 おおふなぽーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、3月19日（金）（午前10時～午前11時50分）に開催します。

子育て支援LINE公式アカウント開設

子育て支援事業で LINE 公式アカウントを開設しました。自宅にいても気軽に情報を得ることができ、相談することもできるようになりました。ぜひご利用ください。

- (1)つどいの広場の利用予約
- (2)育児相談
- (3)子育てイベントのお知らせ
- (4)子育てイベントの予約



LINE ID @046ghkgo

*岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が福祉の職場に就職したい人などの相談に応じます。相談を希望する人は、下記の問い合わせまでご連絡下さい。

介護のしごと相談日程（3月）

開催日	場 所	時 間
1日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
8日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
9日(火)	おおふなぽーと	午前10時～午後3時
11日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
15日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
18日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
22日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
25日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午

※9日（火）はお子様と一緒にご相談可能です。

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本さん

電 話 080-8201-0200

メール n-sakamoto.shakyo@mopera.net

※感染防止対策を講じたうえで開催しますが、状況により延期または中止する場合があります。

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。



申込・大船渡市社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルス感染状況により中止する場合があります。

*子育て支援事業情報

つどいの広場に通うママ達の2020年・防災アイデアふりかえり

子育て家庭に防災への関心を高めてもらうことを目的に定期的にぼうさいカフェを開催しています。今回はこれまで参加してくださったママさんたちが日頃備えていること、防災に役立つ情報などを振り返りながら、今まで参加できなかった人への情報共有を行います。予約制になりますので、下記までお申込み(電話予約・LINE公式アカウント)ください。

日 時 3月10日(水)

午前10時～午前11時50分

場 所 大船渡市Y・Sセンター

つどいの広場

内 容 (1)ぼうさいカフェで出た話題の検証
報 告 (2)「固形燃料で〇〇検証してみたよ」
参加費 無料

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。参加には事前申込みが必要です。

つどいの広場イベント日程（3月）

開催日	内 容	時 間
4日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後2時50分
18日(木)	子育て相談の日	午前10時～午後2時50分
25日(木)	ハローワーク出張おしごと相談会	午前10時～午前11時30分
	栄養相談会	午前10時20分～午前11時50分



場所 大船渡市市民体育館
内容 卓球、バドミントンほか
持ち物 上靴(動きやすい服装で参加してください)

*その他

寄付・寄贈物品受入(1月) (敬称略)

共同募金(一般募金)

Y・Sセンターご利用のお客様(募金箱)
赤崎小学校(学校募金)

共同募金(歳末たすけあい募金)

盛敬神婦人会
つばきの丘(職域募金)

寄贈物品

「小さな親切」運動岩手県本部(車椅子)



「小さな親切」運動岩手県本部より
車椅子を寄贈していただきました

*Y・Sセンター情報

筋力測定会

1分間で筋肉量、体脂肪量、水分量などがわかる筋力測定会を開催します。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予約制で人数に制限を設けての開催となります。下記まで事前にお申込み(電話予約も可)ください。

日時 3月13日(土)

①午前の部 午前10時～正午

②午後の部 午後1時～午後3時

人数 午前、午後各22人ずつ

場所 大船渡市Y・Sセンター

参加費 無料



*就労準備支援事業情報

フリースペース

就労準備支援事業では、仕事をしておらず、「働く」ことに不安や悩みを抱えている人を対象に、体力づくりの機会を設けています。

日時 毎週火曜日

午後1時30分～午後3時30分

今月の表紙

島越 洋平 さん

るり子 さん

菜那 ちゃん

(三陸町綾里在住)

こども園では、歌ったり踊ったりするのが大好きな菜那ちゃん。これからも元気で明るく育ててほしいです。



我が家のペット

我が家の

「モモちゃん・
メルちゃん」

今年も元気いっぱい
仲良くね♡

立根町
ペンネーム ダイエットコーラ



2匹でおしゃれ。
お人形さんみだいで
めんこいごど♡

投稿写真大募集!

投稿方法は3つの中からお選びください!

①写真データをメールする

ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp に添付

②写真を郵送する

〒022-0006

立根町字下欠125-12「Y・Sセンター」内
大船渡市社会福祉協議会「我が家のペット」係

③本会に直接写真を届ける

①～③ 共通

- ・一言説明コメント
- ・名前(ペンネーム可)
- ・住所(町まで可)を必ず添えてください。

次号締め切り
3月5日(金)

どしどしご応募ください!

輝き人

あか さか しん
赤坂 心さん(20歳)

吉浜町在住。
一人前の漁師になるため奮闘する傍ら、若い世代に漁師の魅力を発信している。



漁師の担い手として 若い力を次の世代へ

○原点は漁業体験

漁師を目指すきっかけになったのは、中学時代の漁業体験です。実際に漁船に乗り込み、ホタテの耳吊りを体験しました。そこで働く漁師の姿に心惹かれ、漁師を目指そうと心に決めました。家業を継いで漁師になるイメージがありますが、自分の家では漁業をしていただけではありません。

そこで、ロープの結び方や養殖の方法など漁業の基礎を学ぶため、県立高田高校海洋システム科に進学しました。その後、船舶免許を取得し、念願の漁船と漁業権も得て、漁師として働き始めて2年が経ちます。

○漁師の魅力へ

漁師の仕事は毎日同じ作業の繰り返しに見えるかもしれませんが、風や波などの気象条件によって、その日の作業内容や手

順がまるで違ってきます。それを自分で考えながら作業することができず、毎日壁にぶつかっていましたが、自分から先輩漁師にアドバイスを求め、日々勉強することで、少しずつ天候の変化を予測できるようになり、作業も段取りよく進めることができるようになってきました。

まだまだ覚えることが多く、大変ではありますが、季節ごとに獲れる魚が変わり、今日はどんな魚が網にかかっているのか想像する楽しみのほうが大きく、毎日の仕事にやりがいを感じています。

○若い人たちが海で働く

きっかけを作りたい

大船渡は豊かな海があるのに、高齢化や担い手不足により漁師の数が年々減ってきているのが現状です。このままでは、大船渡の漁業は衰退していくだけだ

と思います。
また、現在市内の小・中学校は統廃合の影響で、海に触れる行事などが廃止になった学校もあります。

そして、就職や進学で大船渡を離れる人が多い中、大船渡に残った人でも漁師を選ぶ人は多くはないと思います。さらに、漁師をやりたいと思っても、家業で漁業をしていないと、漁船の購入資金や技術の習得など大変なことが多く、あきらめる人もいると思います。

そのためにも、自分は家業で漁業をしていなくてもゼロから始めることができるという先駆けになり、漁業体験など小学生や中学生に海に触れるきっかけ作りをしていきたいです。そして、少しでも若い人たちが漁業に関心を持ち、漁師を目指してくれるように、SNSで漁師の魅力を発信していきたいです。